



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JVCケンウッド 横浜C棟 新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市神奈川区守屋町3丁目3丁目9-6.9-38.9-41	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、	評価の段階	
竣工年	2024年10月 竣工	評価の実施日	2024年10月31日
敷地面積	4,780 m ²	作成者	(株)梓設計
建築面積	3,249 m ²	確認日	2024年10月31日
延床面積	10,302 m ²	確認者	(株)梓設計

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★ B: ★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算

建設	修繕・更新・解体	運用	オンライン	オフサイト
①参照値	100%			
②建築物の取組み	62%			
③上記+②以外の	62%			
④上記+	62%			

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バー チャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境				Q2 サービス性能			Q3 室外環境 (敷地内)		
Q1のスコア= 3.2				Q2のスコア= 3.6			Q3のスコア= 3.1		
音環境	3.0	温熱環境	3.0	機能性	3.4	耐久性	3.4	対応性	4.2
光・視環境	3.3	空気質環境	3.7						

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー				LR2 資源・マテリアル			LR3 敷地外環境		
LR1のスコア= 4.4				LR2のスコア= 3.0			LR3のスコア= 3.2		
建物外皮の	5.0	自然エネ	3.0	水資源	3.0	非再生材料の	3.2	汚染物質	2.6
効率的									

3 設計上の配慮事項

総合

JVCケンウッドの本社・横浜事業所において、事業所の集約し、イノベーションを起こす拠点を目指し、省エネと快適性の両立を図った施設計画としている。

その他

0

Q1 室内環境

用途ごとに空調ゾーニングを行い、各室での温度設定が可能な空調計画としている。

Q2 サービス性能

天井を貼る範囲を最小限とし、メンテナンス性に配慮した計画としている。

Q3 室外環境 (敷地内)

空調用屋外機はすべて屋上階に配置している。

LR1 エネルギー

吹抜け上部には換気窓を設け、中間期には自然換気が行われる計画としている。

LR2 資源・マテリアル

内装仕上げでリサイクル品を活用した計画としている。

LR3 敷地外環境

燃焼を必要とする設備機器(給湯、空調)を有しない環境にやさしいオール電化施設となっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

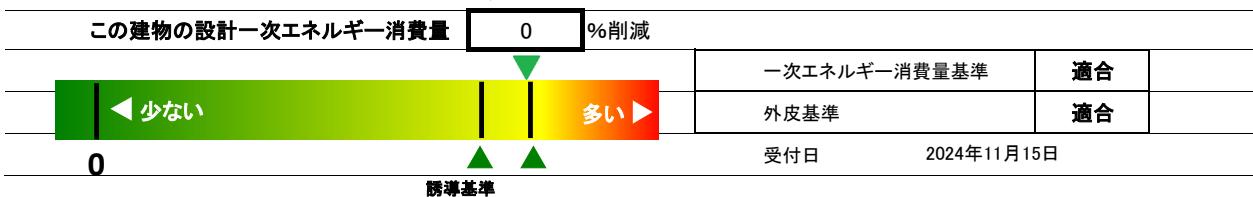
建物名称 JVCケンウッド 横浜C棟 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

カーテンウォールにLow-Eガラスの採用

外装に有孔折板を設置し、開口部の日射抑制を計画

LED照明の採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

1

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 0 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑰部品・部材の耐用年数向上 ⑯信頼性)

耐震性能として重要度係数1.25の計画とした。

構造体の計画供用期間を標準(約65年)とした

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑯生物環境 ⑯まちなみ・景観 ⑯地域性への配慮)

敷地内の積極的な緑化で景観に配慮

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入



スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				-	-	-	-	3.0
Q1 室内環境				0.40	-	-	-	3.0
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 駆音				3.0	0.40	3.0	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	-
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-	-
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-
1 室温		快適・働きやすさ		3.0	0.38	3.0	-	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心		3.0	0.25	3.0	-	-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ		3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ		3.0	0.20	3.0	-	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ		3.0	0.30	3.0	-	-
3 光・視環境				4.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.4	0.30	-	-	-
1 昼光率		快適・働きやすさ		3.0	0.60	3.0	-	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ		-	-	3.0	-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ		4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ		4.0	1.00	3.0	-	-
3.3 照度		快適・働きやすさ		4.0	0.15	3.0	-	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ		5.0	0.25	3.0	-	-
4 空気質環境				3.8	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ		4.0	1.00	3.0	-	-
4.2 換気				3.3	0.30	-	-	-
1 換気量		快適・働きやすさ		3.0	0.33	3.0	-	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ		3.0	0.33	3.0	-	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ		4.0	0.33	3.0	-	-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ		3.0	0.50	-	-	-
2 噴煙の制御		快適・働きやすさ		5.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.0
1 機能性				3.8	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ		3.0	0.33	3.0	-	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ		4.0	0.33	3.0	-	-
3 パリアフリー計画		快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-	-
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ		4.0	0.33	3.0	-	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ		5.0	0.33	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ		4.0	0.33	3.0	-	-
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ		4.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ		4.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-	-
1 耐震性		防 災		4.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能		防 災		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-
1 車体材料の耐用年数		防 災		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災		3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災		3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		防 災		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防 災		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		防 災		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防 災		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		防 災		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり				4.2	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性				3.8	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性				4.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				4.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	-
	6	バッケアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑪まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減				-	-	-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	-	2.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	-	-	2.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雜排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	-	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.20	-	-	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				2.0	0.50	-	-	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				4.5	0.33	-	-	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	-
2.4 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.5 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.6 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.7 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音				3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 振動				3.0	0.50	-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-	-	-
2 基礎の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	-

上記以外の重点項目											
<事務所用途>											
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組		3.0		-		-	
<住宅用途>											
健康と安心											
1 化学汚染物質の対策		健康・安心		⑥健康対策		-		-		-	
2 適切な換気計画		健康・安心		⑥健康対策		-		-		-	
3 結露・カビ対策		健康・安心		⑥健康対策		-		-		-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心		⑦防犯対策		-		-		-	